

生物多様性に配慮するため植樹する際に避けていただきたい樹種について

令和2年4月1日更新

市内の生物多様性の確保を図るため、侵略性の強い種や在来の生態に影響を及ぼす可能性の強い外来種の植樹は避けてください。また、人に害を与える樹種にご注意ください。

<茅ヶ崎市内で植樹する際に避けていただきたい樹種>

○ヤシ類（ジョウオウヤシ、ココスヤシ等）

（理由）・ヤシオオオサゾウムシ（外来種の害虫）に食害される可能性があります。
ヤシオオオサゾウムシに食害されると、ヤシ類の見た目が汚らしくなり、
枯死してしまう可能性があります。

（代用）ソテツ

○カイツカイブキ

（理由）・ナシ赤星病の中間宿主であり、周辺にナシ、カリン、リンゴなどのバラ科樹があると同病が蔓延するもととなってしまいます。観光農園等の周辺では避けください。

○アイビー（セイヨウキツタ、ヘデラ・ヘリックス）

オカメツタ（ヘデラ・カナリエンシス）等外来のヘデラ属つる性植物

（理由）・外来種であり、かなり繁茂するため、適切に維持管理をしないと越境し、在来の生態系に悪影響を及ぼす、及び周囲に迷惑がかかる恐れがあります。

（代用）キツタ、テイカカズラ、ムベ

※上記樹種と同一種または改良品種であっても、学名・和名・流通名等で表記が、各店舗や造園会社によって異なる場合があります。ご注意ください。選定ください。

例 以下、全て同一の種を指します。

英名：アイビー

属名：ヘデラ

和名：セイヨウキツタ

流通名：ヘデラ・ヘリックスなど

<人に害を与える樹種>

○レッドロビン（ベニカナメモチ）

（理由）・しばしばヒロヘリアオイラガ（外来種）の食害を受けることがあります。
幼虫の棘は有毒で、触れると強い痛みを伴う皮膚炎を起こす恐れがあります。

○ツバキ科（ツバキ、サザンカ、チャノキ）

（理由）・在来種ですが、チャドクガが発生しやすく、人に害を与える報告事例があります。